

健健発1028第1号
令和2年10月28日

各〔都道府県
保健所設置市
特別区〕衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局健康課長
（公印省略）

ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチンの供給見通しについて

ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（以下「HPVワクチン」という。）の供給見通しについて、下記のとおり、お知らせします。

現在、予防接種法（昭和23年法律第68号）に基づく、ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種には、グラクソ・スミスクライン株式会社（以下「GSK社」という。）のサーバリックス及びMSD株式会社のガーダシル水性懸濁筋注シリンジ（以下「ガーダシル」という。）が使用されています。

GSK社によると、HPVワクチンに関する個別案内を行う自治体が増えていること等を背景として、HPVワクチンの需要が増加しており、今後更に需要が増加する可能性があるとしています。

このような状況を踏まえ、サーバリックスについて、発注量が供給量を上回る場合には、出荷量の調整が行われるとのことです。一方、ガーダシルについては、現在のところ安定した供給が見込まれているとのことです。

つきましては、円滑な定期接種の実施に資するため、下記のとおり情報共有しますので、貴管下市町村、貴管内関係団体、関係医療機関等へ周知するとともに、HPVワクチンの円滑な流通について関係者との連携に努めていただきますようお願いいたします。

記

1. HPVワクチンの供給見通しについて

サーバリックスについて、令和元年7月から令和2年6月までの期間の供給実績と比較して、令和2年7月から令和3年6月までの期間には、約1.9倍の供給が行われる見込みです。しかし、当該供給見込みをもってしても、発注量が供給量を上回ることが想定されることから、その場合には、出荷量の調整が行われる予定です。

一方、ガーダシルについては、同期間で、約3.0倍に供給量を増やす見込みであ

り、2製剤の合計としても、約2.9倍に供給量が増える見込みであることから、HPVワクチン全体としては、余裕を持った供給がなされるものと見込まれます。

【令和2年（2020年）10月時点】

卸への供給実績又は見込み	サーバリックス	ガーダシル	2製剤の合計
(実績) 2020.7～9	4,468 本	37,113 本	41,581 本
(見込み) 2020.10～12	4,200 本	50,000 本	54,200 本
2021.1～3	3,000 本	60,000 本	63,000 本
2021.4～6	3,000 本	65,000 本	68,000 本
(計) 2020.7～2021.6	14,668 本	212,113 本	226,781 本
※参考（実績） 2019.7～2020.6	7,891 本	69,771 本	77,662 本
※参考（実績） 2018.7～2019.6	4,701 本	32,507 本	37,208 本

2. HPVワクチンの定期接種に係る対応について

(1) 医療機関等の対応について

サーバリックスの発注量に対し、出荷量が調整された場合には、医療機関等においては、3回の接種を同一の製剤で行うため、以下の対応をお願いします。

- ① HPVワクチンの初回接種を実施する場合には、できるだけガーダシルの接種を行うこと。
- ② サーバリックスについては、既にサーバリックスを1回又は2回接種した者を優先して接種すること。

(2) 卸売販売業者の対応について

当面の間、サーバリックスの出荷量の調整が行われる見込みであることを踏まえ、卸売販売業者は、前年に他社と取引しており、自社と取引実績がない医療機関や、新規開設の医療機関から発注があった場合に、取引実績がないことを理由に不利になることがないよう配慮すること。